

同志社大学

2011年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2012年 3月 30日提出

所属	職名	氏名
経済学部	助教(有期)	三俣延子
研究題目	下肥の環境経済史：近現代イギリスにおける人糞尿の農業利用の変遷を中心に	
研究成果の概要	<p>主として、18～19世紀の英国における人糞尿ならびにその他の有機性廃棄物の肥料化に関する史料を収集し、分析した。成果としては、論文としてまとめ、報告を行う以外にも、委員会参加や取材記事を通じて意見を伝える機会があった。歴史的事例を明らかにするとともに、現代における排泄物の肥料化の意義について論じることの両面で成果を得た。</p> <p>●学会報告 三俣延子「19世紀イギリスのナイトソイルと環境政策：尿尿の肥料化に対する都市行政の役割」環境経済・政策学会（2011年9月24日、長崎大学）</p> <p>※上記の学会報告のために報告論文を作成した。現在、加筆・修正を行っている。</p> <p>※2012年5月12日に予定されている社会経済史学会（名古屋大学）において、三俣延子「魚肥と海藻肥料の環境経済史」として報告することが決定している。その報告のための論文を執筆した（報告後に加筆・修正して投稿する予定である）。</p> <p>●委員会参加 「宮津市メタン発酵施設導入調査委員会（第6回、第7回）」（事務局：宮津市自立循環型経済社会推進室）にオブザーバーとして参加した。</p> <p>●取材記事 『土木学会誌』学生編集委員2名による取材に応じ、資料・情報を提供した。同誌「昔の技術でやってみました！第11回 尿尿経済の謎に迫る！尿尿を用いた循環型社会」（2012年1月）に取材記事が掲載された。</p>	